

第3回「グローバル・サステイナブル・テクノロジー研究会」

超臨界流体技術グループミーティング顛末記

平成 18 年 5 月 26 日、山口県産業技術センター及び中村通産(株)小野田工場にて工学部プロジェクト「グローバル・サステイナブル・テクノロジー研究会」第 3 回超臨界流体技術グループミーティングが開催されました。今回は、山口県内中小企業勉強会（周南新商品創造プラザ等）が共催となつての開催となりました。参加者は民間企業の技術者や研究者を中心に 40 名、そのうち GST 研究会メンバーは 19 名と、遠方にもかかわらず多くの方にご参加いただきました。山口県産業技術センターでは、ラボスケールに加えてパイロットプラントを用いて、超臨界アルコールによる GFRP(ガラス繊維強化プラスチック)のリサイクル技術の研究を行っており、当センターの友永文昭氏より「FRP 廃棄物のケミカルリサイクル技術の開発」と題して技術開発動向の講演をしていただきました。その後、地元企業である宇部興産株式会社の林茂也氏より、「加圧二段ガス化プロセス(EUP)による廃プラスチック等有機廃棄物のガス化利用」と題しまして、有機廃棄物のガス化プラントやその稼動状況などについて講演していただきました。その後、中村通産(株)小野田工場に場所を移し、山口県産業技術センター所有の FRP のケミカルリサイクルパイロットプラントなどの見学を行いました。

今回のミーティングでは、低圧・高圧を含めて加圧条件での廃棄物のリサイクル技術が話題の中心となりました。特に、パイロットプラントや商業化プラントを稼動させての話が多かったこともあり、これから装置を大型化する際に参考となる多くの知見が得られたミーティングになったと思います。



山口県産業技術センター 友永文昭氏による講演。超臨界アルコールによるGFRP リサイクルの研究などについてお話をいただきました。



宇部興産(株) 林茂也氏による講演。有機廃棄物の加圧二段ガス化プラントとその稼動状況などについてお話をいただきました。



中村通産(株)小野田工場にて FRP のケミカルリサイクルパイロットプラントの見学の一場面。山口県産業技術センター 友永文昭氏(一番左手前)により、装置の運転状況などの説明を受けました。